

| 自己評価 | | 評価 (総合) |
|---|--|--|
| 学校運営計画(4月) | | |
| 学校運営方針 | <p><スクール・ミッション> 多様なニーズに対して、個別最適な学習環境を提供することで、自己ベストを叶えることができる学校「目指せ自己ベスト」を校是とした筑後地区唯一の単位制フレックス型の高校として、多様な学習歴、就学条件、進路目標に応じた各自の学びのニーズに合わせた「個別最適な学び」を提供し、これから芽を出す生徒を丁寧に、親身になって、誠実に育てる。</p> <p>「授業改善」「積極的生徒指導(生徒支援)」「生徒を主語にした教育活動」を通じ、スクールミッションの実現を目指す。</p> <p>生徒が身に付けるべき「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を確実に育成するための取組をカリキュラム・マネジメント(学校教育に関わる様々な取組を、教育課程を中心に据えながら組織的かつ計画的に実施・評価し、教育活動の質の向上に繋げる)の視点で各分掌・各年次(学年)等で組織的に実施することが求められる。</p> <p>令和5年度から定時制課程の単位制へ完全に移行するが、110年の歴史の中で培ってきた、「生徒一人一人の多様な資質や能力を親身に指導して伸ばし、様々な方向への進路実現を果たす」という師弟同行の教育の在り方や、「この地域で人を支え、また、支えられて活躍する人材となり、必ずや地域社会に恩返しをしようという感謝と奉仕の精神にあふれた人材を育成する」本校が目指す学校文化は今後も引き継いでいく。</p> | |
| 昨年度の成果と課題 | <p>年度重点目標</p> <p>具体的目標</p> | |
| <p>令和4年度もコロナ禍のため、多くの学校行事が内容変更での実施となった。しかし、限られた条件・人数の中で内容を工夫して実施した全日制最後の体育大会や、定時制が中心となって企画運営を行った文化祭など、生徒は行事を通じて大きく成長することができた。全日制最後の卒業生の進路状況も、生徒の第一希望での進路完全実現は、ほぼ達成する事ができた。</p> <p>令和5年度は全日制の最後の生徒が卒業し、定時制単独の学校となる。今後の課題として、</p> <p>① ICT機器や学習管理システム等を有効活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実</p> <p>② 組織力の強化や主体的に学び続ける教員育成</p> <p>③ 専門機関と連携するなどの積極的生徒指導及び修学支援の推進</p> <p>④ 総合的な探究の時間を活用した社会的・職業的自立に向けた必要な資質・能力の育成</p> <p>⑤ 地域や保護者と目標共有・連携・協働、本校の特色や強みの積極的発信</p> <p>があげられる。</p> | <p>「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実を図る。</p> <p>組織力の強化・人材育成に力を入れる。</p> <p>学校での学びの継続を目指して、積極的生徒指導と修学支援に力を入れる。</p> <p>社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育み、キャリア発達を促すキャリア教育の充実を図る。</p> <p>「社会に開かれた教育課程」の理念の下、地域、保護者等、関係機関等と目標やビジョンを共有し、連携・協働して生徒を育成する。</p> | <p>ICT機器やクラウド型学習管理システム活用、個別指導、長期休業中特別講座、ガイダンス機能等を通して「個別最適な学び」の充実を図る。</p> <p>「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実に向けた授業改善に力を入れる。</p> <p>教育活動全般において、Google Workspace for Educationや一人一台端末(chrome book)を有効活用することを通して、指導支援の充実・円滑な生徒とのコミュニケーション・事務処理の効率化を図る。</p> <p>「観点別評価」を基にした学習評価の充実を図る。</p> <p>分掌・年次・教科・委員会単位で「報告・連絡・相談」を密にし、組織的・計画的に教育活動を実施する。起案・合議を通して、情報共有や協議を綿密におこなう。実施後の評価を通して、教育活動の質の向上を図る。事跡を確実に残す。</p> <p>校務運営委員会等の活性化を図る。短期・中期・長期的な視点で教育課題の解決を図る。</p> <p>職員研修やOJTによる人材育成を充実する。また、「福岡県教職員育成指標」に基づき、主体的に学び続ける教員の育成を目指す。</p> <p>修学状況が良好ではない生徒に対しては、早期・組織的な対応に力を入れる。また、専門機関と連携をして、修学支援・教育相談の充実を図る。</p> <p>道徳教育の視点、公共マナーや集団生活上のルールに則った自律的な生活習慣の育成に努める。(学校生活上でのマナーの徹底指導)</p> <p>いじめの早期発見・早期対応に努め、「いじめがなく、安全で安心な学校づくり」に力を入れる。</p> <p>特別活動活性化、ボランティア、行政・地域事業の連携協力への積極的な取組を通じ、主体性、社会参加への意欲、非認知能力の育成に努める。</p> <p>特別活動を要とし、教育活動全体を通して、組織的・計画的なキャリア教育を実施する。</p> <p>総合的な探究の時間(北高自己ベスト探究)を通して、※14つの力の育成に努める。</p> <p>「北高キャリア・パスポート」の活用を通して、自己評価の力を高め、主体的に学びに向かう力の育成に努める。</p> <p>「北高サポーター制度」を導入して、地域人材を活用した教育活動及び地域貢献活動を推進する。</p> <p>各教育機関や地域に対して、単位制「フレックス型」の特色や強み等を積極的に情報発信する。</p> <p>学校間連携事業等を通して、他の高等学校や高等教育機関と連携した学びの充実を図る。</p> |

| 学校関係者評価 | |
|------------|--|
| 評価 (総合) | 自己評価は |
| | <p>A : 適切である</p> <p>B : 概ね適切である</p> <p>C : やや適切である</p> <p>D : 不適切である</p> |

| 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | 評価(3月) | 次年度の主な課題 |
|-------|--|--|--------|----------|
| 教務課 | 観点別評価の充実を図り、個別最適な授業を展開することで、生徒の自立につながる学力を養成する。 | 「学び直し」「成績向上のための指導」を実践する。 生徒に教科・科目に応じたシラバスを提示し、学習のポイントを説明する。 学習プラットフォーム等を活用し、授業改善と主体的で協働的な深い学びを推進する。 | | |
| | 統合型校務支援システムを円滑に運用する。 | 統合型校務支援システムの活用マニュアルを作成し、効果的な活用を促す。 電子掲示板の活用を促し、生徒自ら出席管理を行うことができるように努める。 日々の出欠入力や成績入力に齟齬を生じることがないように確認作業を行う。 | | |
| | 本校のシステムや教育の特色を発信し、中学校や大学等との連携を強化する。 | 説明会や授業見学会等の企画・運営を行う。 ホームページ等を通して本校のシステムや教育の特色を発信する。 高大等連携事業及び科目履修生の基盤を整え、魅力ある学校づくりに努める。 | | |
| 企画運営課 | フレックス型の特色や北高の活動を広範囲に情報発信し、充実した広報活動を行う。 | 中学校へ年間5回訪問し、本校への理解を深めてもらう。 広報紙・SNSやHP等を利用し、フレックス型の特色や北高の活動の認知度を上げる。 マスコミ等へ、本校教育活動を発信する働きかけをしていく。 | | |
| | 保護者等・中学校・小学校や地域との連携を深め、諸行事の円滑な運営を行う。 | 学校行事等で保護者等と生徒が触れ合う機会をつくる。 生徒が出身中学校訪問するなど、中学校との情報交換を密に行う。 生徒育成部と協力して地域活動に積極的に参加・協力する体制をつくる。 | | |
| | 各分掌の連携・調整を図り、「チーム丸力」を高める。 | 旧年度の反省を本年度の実施に活かし、早めの準備・起案を行う。 関係部署との打合せを綿密に行う。 職員間の情報・意見交換が円滑に出来るように工夫する。 | | |
| 情報管理課 | 本校の学習プラットフォームの構築・整理し、ICTを活用した授業改善を推進する。 | Google Workspace for Educationや一人一台端末(Chromebook)の設定・管理を行い、授業での円滑な活用を促す。(教務課と連携) スタディサプリの設定・管理を行い、授業での円滑な活用を促す。(進路支援課と連携) 生徒情報等の年度間の引継ぎが円滑に進むよう、管理マニュアルを作成する。(関係部課と連携) | | |
| | 校内業務のICT化を企画・提案し、業務改善を推進する。 | 校務支援システム「SchoolEngine」の管理・運用を支援する。(教務課と連携) 職員始礼、欠席連絡のICT化を推進する。 共有フォルダの管理・運用規則を作成し、過去データの有効活用を促す。 | | |
| | 教職員のICT活用指導力向上を目指す。 | 情報に関する研修(ICTを活用した授業改善等)の企画・運営を行う。(研修課と連携) 機器・ソフトウェア等の活用が進むよう、マニュアルを準備する。 ICT支援員の活用が進むよう、支援計画を企画・立案する。 | | |
| 生徒育成部 | 学校安全の充実を基本とした自他の安全と生命を尊重する態度を育成する。 | 学校いじめ防止基本方針に基づく取組を行い、いじめの未然防止、早期発見、適切な措置に努める。 交通安全意識の高揚と事故等防止の実践的態度を育成するため、自転車点検や交通安全教室等を実施する。 諸犯罪に適切に対応できる態度を育成するために、薬物乱用防止教育や暴力団排除教育等を実施する。 | | |
| | 生徒理解を基盤とした積極的生徒指導により自尊感情と規範意識を向上させる。 | 「我慢する力」「ルールを守る力」「仲間をつくる力」の育成を目指す。 公共マナーや集団生活上のルールに則った自律的な生活習慣を育成する。 他者の良さを認め、気づかせる道徳教育を推進し、学校行事等で明確な目的を持って取り組む態度を育成する。 | | |
| | 「ほめて、鍛えて、生徒の可能性を伸ばす」ことを方針とした積極的体験的活動の活性化を図る。 | 生徒会活動や学校行事において役割や責任を与え、主体的な態度や思考力を育成する。 生徒会行事に対し満足度調査を実施し、活動内容の改善と活性化を図りながら、満足度70%以上を目指す。 ボランティア活動等、行政・地域事業の連携協力への積極的な取組を通じ、主体性、社会参加への意欲、非認知能力の育成に努める。 | | |

| 項目ごとの評価 | 学校関係者評価委員会からの意見 |
|---------|-----------------|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

| | | | | | | | | | | |
|---------|---------------------|---|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 生徒育成部 | 保健環境課 | 心身の健康維持・増進に向けて積極的に取り組むことのできる生徒の育成に努める。 | 健康診断の結果を踏まえ治療勧告等を行い、生徒自ら健康を管理する態度を養う。 年次・教育相談委員会・SC・SSW・訪問相談員等と連携を図り、生徒支援に努める。 保健室利用状況から、生徒の変化を見据えた早期対応を行う。 | | | | | | | |
| | | 環境美化活動により、学習環境を整える。 | 毎日の清掃活動の徹底を図り、全生徒・全職員で校内美化に努める。 前後期1回のクリーンアップ週間を設定し、強化を図る。 HR活動の中で、外掃を含めた近隣の清掃活動に従事する。 | | | | | | | |
| | | 健康的で安全な学校生活を送ることができるよう、生徒の学びを支える環境づくりを図る。 | 危機管理マニュアルの徹底を図り、事故やケガの防止と早期対応に努める。 生徒が抱える課題に応じた、組織的な支援に努める。 健康教育推進事業（心の健康相談・性の健康相談）を年間各1回実施し、効果的に活用する。 | | | | | | | |
| キャリア教育部 | 進路支援課 | 個に応じたキャリアガイダンスを実施し、第一希望での進路実現を目指す。 | 年間3回の「進路希望調査」を実施し、自己の進路を考え、担任や保護者との対話の機会をつくる。 進路講演会や進路ガイダンスを実施し、外部リソースの活用・連携を通して、進路意識の向上を図る。 「北高キャリア・パスポート」を活用し、生徒が自己実現に向けた目標設定を行い、行事や総探学習を通して振り返る機会をつくる。 | | | | | | | |
| | | 進路実現のための学びの保障ができるよう、進路指導体制を充実させる。 | 「北高自己ベスト探究」を通して、自己の在り方生き方を考えながら、4つの力の育成を図る。 到達度テストや模擬試験の実施方法を工夫し、受験率9割以上を確保し、生徒一人ひとりの進路指導に反映させる。 教務部と連携してスタディサブリを活用し、学びに向かう力の育成を図る。 | | | | | | | |
| | | 生徒・保護者等・地域に対する適切な情報発信を行う。 | 生徒や保護者等に有益な「進路の手引き」を作成する。 時宜に応じた進路情報誌等の依頼・提供を行う。 到達度テストや模擬試験の振り返りを「北高キャリア・パスポート」で行い面談時に活用する。 | | | | | | | |
| | 研修推進課 | ICT支援員との連携を密にし、ICTを有効活用した「個別最適な学び」や「協働的な学び」の充実を図る授業改善に寄与する。 | ICT支援員からの月1回程度の定期的な研修動画の配信や資料の提供を行う。 一人一台端末やスタディサブリの有効活用についての情報提供や共有を行う。 公開授業月間を充実させるための方策を考え、結果を共有することでよりよい授業改善に繋げる。 | | | | | | | |
| | | 新しい研修の在り方を模索しながら、研修の充実やOJTなどを有効活用した人材育成を目指す。 | 全体研修のみならず、テーマを設定したミニ研修会やOJTを実施しながら教員力の向上に努める。 公開授業月間を年2回実施に向けて検討を行い、研究授業後の合評会の実施及び充実を図る。 参加した研修会の資料や情報を共有し、多くの職員の実質・能力の向上を目指す。 | | | | | | | |
| | | 本校の実情に特化した研修や情報提供に努め、積極的な生徒指導と修学支援をバックアップする。 | SC・SSW・訪問相談員や医療機関等と連携した本校の実情をリアルタイムに捉えた研修を実施する。 生徒の実情に即した総合的な探究の時間の計画や特別活動の在り方に関して検討し、提案していく。 全職員による生徒情報交換会の新設に向けての検討をし、きめ細かな生徒指導に寄与する。 | | | | | | | |
| 学年部 | 新入生年次 | 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を目指す。 | スタディサブリにおける宿題配信を、すべての先生が月に1回以上実施する。 ペアワーク等の協働的な活動を、すべての授業で月に1回以上実施する。 生徒への連絡等のために、すべての先生がGoogle Workspaceを月に1回以上活用する。 | | | | | | | |
| | | 積極的な生徒指導を推進する。 | HRと総合的な探究の時間に、教室に入ることができない生徒への支援も同時に行う。 副担任の協力も得ながら、特別活動の補充活動を月に1回以上行う。 集団生活上のルールや他者との適切なコミュニケーションについて、適宜助言する。 | | | | | | | |
| | | 社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力の育成を目指す。 | 組織的・計画的なキャリア教育の実施のために、年次会議ごとに総探計画の情報共有を行う。 進路講演会や探究活動において、記録を残していくことの重要性について適宜説明する。 校内での挨拶を徹底する。 | | | | | | | |
| | 在校生年次 | 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を目指す。 | スタディサブリの学習データ（生徒）を月に1回以上確認し、生徒に対して適宜助言する。 HRと総合的な探究の時間において、グループワーク等の協働的な活動を実施する。 生徒への連絡等のために、担任と副担任がGoogle Workspaceを活用する。 | | | | | | | |
| | | 積極的な生徒指導を推進する。 | 特別活動での生徒の役割分担について、生徒全員が等しく合意形成に関わるよう助言する。 副担任の協力も得ながら、特別活動の補充活動を月に1回以上行う。 集団生活上のルールや他者との適切なコミュニケーションについて、適宜助言する。 | | | | | | | |
| | | 地域や保護者等、関係機関との連携を推進する。 | 地域人材を活用した教育活動を、半期に1回以上実施する。 学校間連携事業の活動内容を、適宜情報発信する。 ボランティアや実行委員等への参加人数をのべ20人以上にするために、適宜声かけを行う。 | | | | | | | |
| | 卒業予定生年次 | 自己理解・自己管理能力を高めさせる。 | 積極的な生徒指導を行い、基本的な生活習慣を身に付けられるよう適宜指導する。 年次における1ヵ年皆勤数10名を目指す。 キャリア・パスポートやマイノートを活用しながら、個別面談を必要に応じて実施する。 | | | | | | | |
| | | 社会形成能力を身に付けさせる。 | 生徒主体の行事運営を心がけ、リーダー及びコミュニケーションスキルの育成を図る。 ボランティア活動に積極的に参加する生徒を育成する。 進路決定後の学校生活を充実させるため、具体的な目標と計画を立てさせる。 | | | | | | | |
| | | キャリアプランニング能力を身に付けさせる。 | 詳細な情報収集や綿密な面談を行い、全ての生徒が納得して希望進路を決定できるようにする。 長期休業中の学習活動を充実させる（夏期講座等）。 進路決定後も資格取得に挑戦させ、上位級を取得して卒業させる。 | | | | | | | |
| 事務部 | 現状に沿った環境整備、充実化に努める。 | フレックス型完全移行に則した柔軟な環境整備を行う。 不用品を積極的に処分し、整理整頓を徹底する。 | | | | | | | | |
| | 効率的効果的な予算執行及び管理を行う。 | フレックス型完全移行に沿った柔軟な予算執行を行う。 止むを得ず現金を取り扱う際の保管記帳等の厳格化を推進する。 | | | | | | | | |
| | 外部対応の見直しを行う。 | 丁寧な対応の中に、職員負担の軽減化を図る。 個人情報保護のため、外部対応方法の見直しを図る。 | | | | | | | | |

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ |
|---|

評価項目以外のものに関する意見

| |
|--|
| |
|--|